



短期入所中の日中活動のご紹介



短期入所サービスは、「介護者に用事があるとき」「介護者が病気のととき」「介護疲れを溜めないよう休息したいとき」「親以外の人からの介護を経験させたいとき」等に、施設に障がい児・障がい者を泊りがけで預けることができる「障害福祉サービス」です。当院では濃厚な医療的ケア(気管切開、人工呼吸管理)を必要とする重症心身障がい児・者を中心に、重症心身障がい病棟だけでなく、院内の各病棟(小児病棟、整形外科病棟、内科病棟)で短期入所の受け入れを行っています(ご支援いただいている各病棟のみなさま、感謝です)。

短期入所サービス(医療型)では、食事・排泄の世話や日常的な看護ケアの提供を中心に支援を行っていますが、今年度より日中活動もあわせて提供させていただくようになりました。現在は平日の昼間(入退院日を除く)に、理学療法士によるリハビリもしくは児童指導員による療育活動を実施しています。

療育活動はそれぞれのベッドサイドを訪問して行っています。お名前を呼ぶ歌や体に触れる「スキンシップ体操」をルーチン活動として、それ例外にスヌーズレンをしたり、絵本を読んだり、季節の製作をしたりしています。製作活動では触覚経験をメインに、7月8月にはトウモロコシ、9月10月にはハロウインのかぼちゃと手形おぼけを作りました。通所支援をご利用でない方は初めてお会いする方が多くて、初回はお互い探り探りの活動となっておりますが、2回、3回と回数を重ねるごとに療育者の声や

歌を覚えてくれて、声かけに笑顔になったり、触れても緊張が入りにくかったりする様子が見られるようになってきました。これからもお一人お一人の「好き」を見つけて、それぞれのペースにあわせて、気分転換やふれあいを楽しめる時間を提供していきたいと思います。

短期入所中に日中活動支援を受けたい場合は、それぞれ担当の相談支援専門員(サービス等利用計画を作成してくれる方)にお申し出のうえ、サービス等利用計画の写しを医療福祉相談室(地域医療連携室)までご提出ください。その他短期入所に関するご相談、新規申し込み等も医療福祉相談室で受け付けています。

感染症対策はまだまだ気を抜くことはできませんが、少しでも穏やかな、よい年末年始をお過ごしいただけますようお願いいたします。(療育指導室長 村松 順子)

やまぼしギャラリー 情報コーナー information

12月といえばクリスマス!クリスマス気分を味わうのにツリーは欠かせないですよ。ということで、今月の作品は「クリスマスツリー」です。患者さんと一緒に紙をちぎってペタペタと貼り一生懸命作りました。ツリーの横には本物のまつぼっくりを飾り、本格的な作品になっています。是非やまぼとギャラリーへ足を運んで個性あふれた素敵なツリーたちをご覧ください。次回の展示作品もお楽しみに!

(児童指導員 森 日奈子)



5病棟の生活のひそつま 74

あっという間に今年も終わりに近づいていますね。本格的な冬が到来し風邪をひきやすい時期になってきていますので、皆さんも体調には十分にお気をつけください。さて、少し時を遡りますが、5病棟では10月31日(月)にハロウインパーティーを開催いたしました。今年は去年好評だったおぼけコーナーやおやつコーナー、写真スポットに加え、新たに「ゲームコーナー」を設けました。その名も「クモの巣ダーツ」です。

得点が書かれた大きなクモの巣に、磁石がついたクモを投げてもらい点数を競うというもので、ゲームに参加する患者さんは皆さん真剣そのもの!できるだけ真ん中に投げようと頑張る患者さんの姿がとても印象的で



た。他にも、薄暗い照明の下にカボチャやおぼけの飾り、クモの巣などが張られたおぼけコーナーで表情を強ばらせたり、かわいいカボチャが飾られた写真コーナーで素敵な笑顔を見せてくれたりと、患者さんのさまざまな表情を見ることができました。

最後は数種類のジュースやお菓子が用意されたおやつコーナーで好きな物を選んでもらい、とても嬉しそうな顔で会場を後にしていました。12月にはクリスマス会を実施する予定です。5病棟では年末までイベントが続くので、患者さんと素敵な思い出をたくさん作って今年を締めくくりたいと思います。(児童指導員 森 日奈子)

